

登録コード	UAF09500	開講年度	2026			
授業題目	野外教育グループカウンセリング特論				担当教員	瀧 直也
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限	
			授業形態	講義		
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学					
	【心理・長野臨床以外】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				⇔	野外教育に関する専門的な知識について学び、野外教育の指導者として必要な高度な知見を習得する。
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学					
	【心理・長野臨床】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				⇔	野外教育に関する専門的な知識について学び、野外教育の指導者として必要な高度な知見を習得する。
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学					
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				⇔	野外教育に関する専門的な知識について学び、野外教育の指導者として必要な高度な知見を習得する。
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				⇔	野外教育に関する専門的な知識について学び、野外教育の指導者として必要な高度な知見を習得する。
(2)授業の概要	講義、ディスカッション、指導演習をとおして、野外教育をはじめとする体験学習の教育的効果や効果的なグループ指導に関する指導法を学び、専門的な知識を習得する。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：野外教育と体験学習 第3回：体験学習法とファシリテーション 第4回：グループワークとグループカウンセリング 第5回：指導技法と指導者の資質 第6回：発達段階に応じた指導上の留意事項（幼時期） 第7回：発達段階に応じた指導上の留意事項（児童期） 第8回：発達段階に応じた指導上の留意事項（青年期、課題を抱える子ども） 第9回：人間関係づくりをねらいとしたアイスブレイクの実践 第10回：イニシアティブゲームの実践 第11回：心理尺度を用いた野外教育の教育的効果（生きる力、問題解決能力） 第12回：心理尺度を用いた野外教育の教育的効果（自己概念、セルフエフィカシー） 第13回：観察法とインタビュー調査 第14回：グランデッドセオリーアプローチを用いた野外教育の教育的効果 第15回：まとめ 期末レポートを課す					
(4)成績評価の方法	レポートでの理解度（80％）と授業への参加態度（20％）により評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(5)成績評価の基準	レポートでは、①問題の設定が適切であり、②その問題の背景を説明できており、③その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、④それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、⑤その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。① から⑤の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。					
(6)事前事後学習の内容	前週の授業内容の理解を問うグループワークを毎回の授業冒頭に行うため、前週の授業内容を毎回復習してから授業に臨むこと。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(7)履修上の注意	復習などの授業時間外学修を適切に行うこと。					
(8)質問,相談への対応	メールにて随時受け付ける。taki@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	独自に作成したプリントを配布する。					
【参考書】	ジム ショーエル,リチャード S. メイゼル(著),坂本 昭裕(監修), グループの中に癒しと成長の場をつくる 葛藤を抱える青少年のためのアドベンチャーベースドカウンセリング, みくに出版, 2017. 4,000円＋税 ディック プラウティ,ポール ラドクリフ,ジム ショーエル(著),伊藤 稔,プロジェクトアドベンチャー ジャパン (翻訳), アドベンチャーグループカウンセリングの実践, みくに出版, 1997. 3,500円＋税					